

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Jffヴォスクオーレ		
○保護者評価実施期間	R6年 6月 1日		～ R7年 5月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R6年 6月 1日		～ R7年 5月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 6月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・現役、元プロフットサル選手によるフットサル教室	・日々チャレンジしてもらえようポジティブな関わり合いや声掛けをしている。 ・「あいさつ・礼儀」、「スポーツマンシップ」、「ルールを守ること」をコンセプトにしつつ、利用者さまたちが楽しめる活動を行っている。	・日々の活動内容(フットサル)が固定化して飽きがないよう工夫していく。 ・利用者さまの意見・やりたいことなどにも耳を傾けて活動内容を検討していく。
2	・楽しめる空間づくりができています。	・自由遊びの時間には、利用者さま同士だけでなく職員も積極的に一緒に遊ぶ(関わる)ことを意識しており、楽しい空間作りをしている。 ・長期休暇中の企画の発案。利用者さまが楽しめる企画を職員で話し合い作っている。	・フットサルだけでなく、楽しい企画のアイデアを出せるよう、職員で話し合いの場を多く作る。
3	・保護者さまから「送迎時の情報共有が丁寧」、「家族で参加ができるイベントがうれしい」というお言葉を頂いている。	・利用者さまの様子を伝える際や電話対応等、細かく丁寧にするよう職員は意識をしている。 ・利用者さま本人だけでなく、ご家族さまの楽しんでもらえる企画を法人全体で考えている。	・継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長期休暇中等利用者さまが多い日は、少し事業所内が狭く感じることがある。		・遊ぶものや遊ぶ場所を分散させ、手狭に感じることのないように事業所内の人の密度をコントロールしていく。
2	・障害のない方々との関わる機会が少ない。	・普段の活動がフットサル活動で、外部の人間との接触がほほない。	・イベントやお出かけて職員以外との関わり合いを増やしていけるようにしていく。 ・プロフットサルの応援ツアー等の企画や法人のフットサル交流会で、選手との交流の機会を多く作る。
3			